

まつだこどもクリニックニュース

<http://www.matsuda-kodomo.com>

診療のご案内

診療時間

【午前】 9:00～12:00

【午後】 16:00～19:00

14:00～16:00は専門外来（予約制）各種予防接種、乳幼児検診、ペリネイタルピジット

土曜午後 専門外来（予約制）

休診日

木曜日午後、日祝日

8月のクリニック休診日

専門外来の休診

8月1日（水）

下妻市5ヶ月健診のため

8月7日（火）

下妻市BCG接種のため

8月9日（木）

八千代町4ヶ月健診のため

8月21日（火）

八千代町3歳健診のため

8月22日（水）

八千代町1歳6ヶ月健診のため

一般外来の休診

13日（月）、14日（火）、15日（水）は、お盆休みのため、終日休診となります。16日（木）は、通常通り午前中のみ診療となります。

心臓外来のお知らせ

実施場所

茨城西南医療センター病院内
（茨城県猿島郡境町2190）

診察日

8月2日（木）、8月23日（木）
いずれも午後1時30分から。

以降の日程は随時ホームページでお知らせいたしています。

予 約

心臓外来は予約制です。予め茨城西南医療センター病院内まで予約をお願いします。

TEL0280-87-8111

まつだこどもクリニックからの最新のニュースです。
携帯からどうぞ



特集 夏風邪について～その2～

小児科では、季節により特有の病気があります。

これから、夏に向かって、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎などが流行り始めます。今回は、先月号に続いて咽頭結膜熱、流行性角結膜炎について考えてみましょう。

咽頭結膜熱（プール熱）

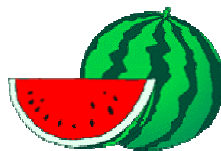
発熱、結膜炎、咽頭炎を主症状とする病気でプールを介して流行することが多いので、プール熱とも言われています。原因は、ウィルスで主にアデノウィルス3型が主流ですが、その他の型でも発病すると言われています。潜伏期間は5日前後で飛沫感染が主流であり、プールでは、結膜からの感染もあります。症状は、高熱（40前後）、咽頭痛、頭痛、食欲不振を訴える事が多く、これらの症状が3日から7日間続くとされています。幼児期から学童期に多く、時に大人も感染することがあります。治療は、対処療法が中心で、場合によっては眼科的治療も必要となることがあります。主要症状が無くなってから2日経過すると感染源にならないと言われています。



流行性角結膜炎

原因はウィルスでアデノウィルス8型による感染で発症します。学校では、プールで感染することが多く、これから夏休みに向かい感染のチャンスが多くなりますので注意してください。潜伏期間は1週間以上で、プールの水、手指、タオルを介して接触感染することが多いと言われています。症状は、急性濾胞性結膜炎を呈し、眼瞼の腫脹、異物感、眼脂があり、偽膜を伴うことが多く注意を要します。治療は、対症療法しかなく、予防は、手洗いと接触感染を防ぐためにタオルは専用とすることが大切です。





(1) ペリネイタル ビジット (その2)



宇津野医院での新生児回診、胎児エコーに積極的に参加させて頂いております。赤ちゃんは、何事もなく出産されることが一番ですが、時には小児科医（特に新生児科医）の出番が必要になることがあります。簡単な事ならば、私一人でも何とかできますが、時

にはNICU（新生児集中治療室）が必要になることがあります。胎児エコーで病気が疑われるときには、母胎搬送（赤ちゃんが生まれる前に母親と共に）をお願いすることもあります。その方が、出生後すぐに治療を開始することが出来、母子共に安全だからです。現在、NICUもベットが足りません。筑波大学だけでなく時には、日立、水戸などの病院をお願いすることもあります。これも現在の課題でしょうか。

最近、日常の診療を通して、少しずつながらペリネイタル ビジットの考え方が広まり始めて居ることを感じます。出産前後の些細なことで、母子共に安全に出産に望める事は、産科医、小児科医が少ない現在非常に良いことだと思います。

(2) 小児救急について



茨城の西南地区は4年前に「茨城西南地区小児二次救急輪番制」が茨城西南医療センター病院を中心に作られました。当時は、茨城西南医療センター病院を始めとし、友愛記念病院、猿島赤十字病院（現古河赤十字病院）、湖南病院と4つの医療機関での協力で始まり、その後、猿島赤十字病院の小児科の閉鎖に始まり、1年前に私が湖南病院から友愛記念病院に移った事で湖南病院が抜け、現在は西南医療センター病院と友愛記念病院の2カ所で部分的ながら頑張っています。

当クリニックでは、これに参加する資格がありませんが、この地域での小児医療を考え、何かできることはないかと考え、筑波メディカルセンター病院小児科市川先生のご厚意で8月から筑波メディカルセンター病院での夜間診療に参加することにしました。今の所、月1回木曜日の夜間になります。今からでも遅くありません。この地域での小児医療について、親御さんを始め、一人一人が行政とともに真剣に考える必要があると思います。

8月の夜間診療予定

8月26日（木）午後6時～午後10時まで

ダン君登場！

先日、クワガタの雄が当クリニックにやってきました。ダン君と名付けて、クリニックで生活を始めています。カブトムシのソガ君も仲間に加わりました。もう少ししたら、また自然に帰してあげようと思っています。



ボク達を見に来てね！

Staff's Voice



こんにちは！私は看護師のさたつと言います。私は、2歳の時に父親が下半身不随の障害者となり、母が10年間仕事をしながら看病をしていました。そんな姿を見て看護師になるうと思いました。今は、主人と2人の娘と仲良く暮らしています。長女は、生まれつき心臓が悪く生後7ヶ月の時に手術をしましたが今では中学2年生！次女は、生後2ヶ月の時に百日咳と診断され2週間入院しましたが今は小学6年生！2人共、とても明るく元気に学校へ行っています。子育てと仕事の両立はとても大変ですが、子ども達の笑顔で癒されます。小児科に来院してくる子ども達は自分の子の様にかわいくて苦しい時を頑張っ乗り越ってほしいと思います。私の子育ての経験と看護師としての知識を生かして少しでもお母様達の力になればと思っていますので気軽に声をかけて下さいね！まつだ こども クリニックは子供達が怖がらずに受診できる様な環境を心がけています。安心して受診して下さいね！

編集後記

先日の新聞報道によると、基幹病院、中核病院、診療所間の医師の配分、役割分担が上手く行かないようです。小児救急の欄でも書きましたが、産科、小児科の医師が少なく、日本の至る所で日常診療、救急医療が悲鳴を上げている様に思われます。参議院選挙の結果が患者さんにとって医療を良い方向に変わせてくれると良いのですが...

